

R2町政懇談会要旨

【まちなか整備】

	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	ときわ台駅前ロータリー工事について ・住民への説明が行き届いてない ・広報等でもっと周知してほしい。	・丁寧な説明には心掛けています。 ・工事内容については、工事を始める前に自治会を通じ工事内容資料を配布し、町HPにも掲載している。 ・工事の進捗状況について担当課からお伝えする。
2	ときわ台駅前社協跡地について ・廃虚で景観が悪い。 ・利活用についてどのように考えているのか。	・これまで建物のアスベスト調査を行っていた。 ・これから活用に向けて進めているところ。 ・詳細は決まり次第、お知らせする。
3	ときわ台駅前マンション1階の空き店舗について ・町が借り上げてアートサロンや高齢者が集うコミュニティスペースにしてほしい。	・町が借り上げることは出来ないか、利活用される団体等がないか協議出来るようにします。
4	自治会環境衛生委員の立場から ・道路の一旦停止線が消えかけている。 ・道があちこち工事した後でパッチワークのようでガタガタ。住宅地内のパトロールしているか。 ・消防前の道路は、植木の根っこが盛り上がっていて危ない。 ・一斉清掃してもまだ綺麗になっていない。通学路もパトロールしてほしい。	・その都度補修に努めています。 ・今後もパトロールに努めます。 ・関係機関と調整を図りながら対応に努めていく。
5	光風台6丁目の崩落について ・光風台自治会に避難勧告の情報がなかった。 ・気象警報はたんぽぽメールでも送るなどの活用を検討してほしい。	・今回は対象者が限定されていたため、その方に向け個別呼び掛けを行い、西公民館に避難いただいた。 ・今回は、大雨が続き地盤に多くの水を含み崩落につながった。 ・注意報や警報など情報伝達について進化させていきたい。
6	余野川について ・池田土木が余野川の改修工事してくれたが、未だ3地区河川が崩れたり堤防が決壊している。 ・水路整備について自治会としてもまとめたい。	・引き続き河川を管理している大阪府に要望していく。
7	R423について ・サイクリングの人も多いので拡幅も含めて考えてほしい。	・大阪府へも要望をしており、少しずつ進めているところ。
8	上下水道について ・上下水道の整備は人口38,000人として考えられていると聞く。 ・閉鎖された空き家の配管費用にお金がかかっていると聞くが。	・開発当時は38,000人の人口を想定してのまちづくりを進めたということだと思う。 ・上下水道の維持管理は、費用がかかるが、命や衛生に係わる重要な事業なので、必要な方に必要なサービスを届けたい。

【情 報】

	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	ホームページについて ・見にくい。 ・リンクをたどっても見たい情報に行きつかない。	・欲しい情報が早く得られるように、見やすいようにリニューアルしていく。 ・これからはプッシュ型の情報発信が大事だと考えている。

【人 口】

	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	人口減少について ・人口が減ることが心配。人口が増加している自治体の事例を参考にしてはどうか。 ・転入促進ってどこに住んでもらうのか。 ・子育て施策はあるのか。 ・空き家バンク制度の活用促進。 ・小学校の跡地利用で転入促進を進めてはどうか。早く手を打っていく必要がある。	・空き家バンクの活用を含めて、利活用を促すよう検討していく。 ・施策は、町の上位計画である「総合まちづくり計画」に盛り込んでいく。

2	転入促進・子育て施策について ・転入促進は、町内で言っても仕方ない。外に発信しないといけない。 ・子育て施策の充実を。	・転入促進については町外ターゲットにイベントなどを通じ発信していく。 ・総合まちづくり計画を策定する中に子育ても盛り込む。
3	転入促進について ・具体的にどのような取り組みか。	・東地区R423沿いの企業誘致。 ・空き家バンクの活用。 ・子育て施策の充実。 ・規制緩和をして進めやすいように考えていく。 ・テレワークも視野に入れて考える。
4	東地区の子どもの数の減少について ・通学交通費の補助を考えてほしい。 ・出産費用補助を考えてほしい。 ・教育費を無料にして人口が増加している自治体がある。定住促進策を具体的に進めてほしい。	・財政面は厳しいが今後、検討していく。
5	定住人口の増加について ・人口維持でも良いと思うが、行政としての関わりについてどう考えているのか。地域活性化を住民するには限界がある。	・地域活性化については地域の方との協働が不可欠です。今後も共に進めていきたい。
6	人口増加について ・子育て世代転入のための施策が必要。 ・千早赤阪村では赤ちゃんが生まれたら10万円プレゼントされるとか。 ・高校になったら交通費を補助したらどうか。	・人口は必ず減るが、なだらかにしていく必要がある。 ・子育て層を増やす戦略を考えたい。 ・キーは子育て層、0歳～2歳の保育料の無償化なども検討していきたい。

【まちづくり】		
	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	安全・安心なまちづくりについて ・もう少し防災に力を入れてほしい。 ・雨漏りする吉中体育館が避難所になっているが、古い建物なのに大丈夫なのか。	・今後も防災には力を入れていく。 ・災害の内容によって避難所としての使い分けが必要。
2	社会福祉協議会の体制について ・年寄りが多い町だから見守りが必要。 ・地区福祉委員は頑張っているが、社協の職員が少ないのではないか。 ・もっと力を入れてほしい。 ・社協に若手職員が必要だと思う。	・高齢化率の高いことにより、年々課題も増えてくる。 ・社協とも協議し進めていく。
3	町のアピールについて ・とよのんは頑張っているのに町のアピールの仕方がパンチに欠ける。町を挙げてのプロモーションが必要。（外に向けてのアピール） ・若い人の意見を取り入れて具体的な取り組みを。（理想の空論はいらない）	・そのために今年4月にまちづくり創造課を作った。
4	生産緑地2022年問題について ・地価が下がらないか心配しているが町としてどう考えているのか。	・情報は、早くお伝え出来るようにする。
5	地域活性化 ・地域で活躍している人が町の会議で意見できるような機会を作ってはどうか。推薦できる人がいる。 ・職員は異動があるから町のことは住民のほうがよく知っている。	・計画策定等の委員会会議において住民の方に委員になっていただいている。 ・是非とも推薦していただきたい。
6	民間地質調査の結果活用について ・民間地質調査で地震が起きても強い町だと結果が出ている。 ・防災面で安全な町だとアピールできるのではないか。地価も変わるかも。 ・アピールすることで人口増に繋がる。	・伝え方については、今後検討していく。

7	高齢者の立場から ・転倒防止のための予防が必要。 ・介護予防事業について考えていただきたい。 ・例えば希望ヶ丘のグラウンドは平日は空いており、このスペースを有効活用できないか。	・高齢者福祉、生涯学習担当へ伝える。
8	高山のまちづくりと地域づくり ・若い人がいなくなると高齢者ばかりになり耕作放棄地問題が出てくる。 ・高山に学校がないので学校との距離があると関心もなくなる。 ・圃場整備について地元負担が増える。 ・農業がしたい人と地元をマッチングする窓口がない。みどり公社では細かいことが難しい。	・今の制度では棚田の整備には地元負担が生じる。相談できる窓口を作っていきたい。一緒に考えていきたい。
9	建築協定について ・建築協定の有効期間が来年切れるが今後の町長のお考えは。	・建築協定の内容を時代に合ったものにしていくことは必要。 ・隣市に企業団地が出来るので地域全体として捉える必要がある。
10	初谷川入口の路上駐車について ・初谷川へ遊びに行くため路上駐車が多くなり困っている。子どもが走るし、車の扉を開けたまま放置しているし危ない。 ・農作業するときに路上駐車の手が邪魔になる。 ・駐車場を作ればお金が町にも落ちると思う。 ・地域活性化にはなっていない。 ・カラーコーンを置かれたが目障りである。	・8月にはご迷惑をおかけしたことは承知している。 ・初谷川は町の観光資源と考えている。 ・今後、駐車台数のコントロール、駐車場・トイレ整備も考えていきたい。 ・今後自治会と何度か協議して来年GWまでに何とかしたい。
11	妙見口駅周辺の店舗について ・議員の折り返しチラシに町長は妙見口に複数の店舗を検討しているように書かれていたが、具体的にどこか。	・花折街道をイメージしながら小さな活性化を期待していったもの。 ・店舗については、空き家、町営住宅の跡地などを見て問い合わせも増えているので、地元との協議の場を持って進められればと考えている。
12	町の活性化について ・地域おこし協力隊による活動があればいいなと考えているが町のお考えは。導入出来ないのならその理由はなにか。	・やるのなら専門家、経験者を迎えることが必要である。 ・地域のことを知らない人が来て混乱させた事例もある。地域を知る人でなければ合意形成が難しいと考えている。 ・私の思いは、地域の方々とともに地域を作ることをまず考えたい。 ・知識、経験は欲しいが、地域で議論した上で必要なら考えていきたい。他責や他力ではだめ。
13	総合まちづくり計画について ・基本構想について地元説明会があるのか。吉川に特化した話し合いを持ってもらえるのか。 ・本町はいびつな地域形成なので以前は中心、核が分かりにくかった。西地区に住んでいる町長の意見は。	・全体のことを考えていきたい。産業、環境も違う。中核を西地区、東地区に置く。どちらも素晴らしさを活用し、再生のキーにしていきたい。 ・広域で連携していくことも考えていく。
14	まちづくりについて ・まちづくりとして具体的に何に取り組むかを知りたい。	・本日は、まちづくりのテーマとして資料に示している。 ・今後、総合まちづくり計画策定の中で考えていく。
15	安心・安全なまちづくりについて ・豊能町の良さは風光明媚、大阪府トップの教育。 ・この辺りは岩盤の上に建っているから安全。 ・災害に対する取組をアピールする。 ・まちの良さを発信していく。	・私も転入時に考えたことは同じである。 ・教育に力を入れていく。 ・防災については高齢者のこと、消防団活動、課題は色々だが意見をいただき課題に取り組む。 ・コロナ禍の避難所の体制についても考えていく。 ・町として体制づくりが喫緊である。

16	人口とまちのことについて ・豊能町の子どもは優秀だから町から出ていくんだと思う。今住んでる人に手厚いサービスをしないと出ていく。 ・箕面森町との連携は考えていないのか。 ・高齢者が免許証を返納したときのことも考えないといけない。 ・自治会と連携してサポート体制を作る。民間委託ではなく住民委託にする。民間ほどお金はかからない。 ・自主防災でも介護認定を受けてない人をどうサポートするか議論している。	・箕面森町との連携については今後、企業団地に300人の雇用を考えている企業も複数ある。雇用確保に繋がっていくだろう。 ・自治会はよく住民の方をご存じである。見守りなど是非自治会としての成功事例を作ってほしい。 ・都構想で大阪府と市町村との関係も変わる。水道、消防の分野が変わってくるだろう。 ・広域連携で進めていくことを今後も深めていきたい。
17	雇用について ・企業誘致の規模と場所についてどのように考えているか。	・東地区R423沿いで考えている。 ・大きな規模ではないが企業誘致や起業家育成を図る。 ・テレワークも視野に入れて考える。

【農 業】		
	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	志野の里 ・駐車場が狭い。	・いずれは、駐車場を広くしていけるように考えていく。
2	農業について ・ため池の工事について補助はあるが住民負担が大きい(上杉池)。 ・町所有の池と個人の池(上杉池)の補助率は同じか。 ・東地区と吉川地区は農業の規模が違いすぎる。農業施策は各地区ごとに考えていただきたい。 ・町の応援を受けるには圃場整備が条件になっていたりもする。 ・補助金について受益者負担が1割となっているが、町がもう少し負担してほしい。	・農地維持に圃場整備があるが棚田等には受益者負担の問題があることは認識している。 ・今後は、地域に合わせた方法を検討し、国に要望していきたい。 ・みどり公社の考え方として圃場整備ありきになっている。 ・要望によって大阪府の補助率を上げられた経過もあるので今後も協議していきたい。 ・今後も住民とともに考えていく機会をもちたい。 ・個人の池の補助率はお伝えしているとおり。

【環 境】		
	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	道のこと ・たばこの吸い殻を見ることが多くなった。 ・美化とたばこマナーの呼びかけが必要。 ・たばこの喫煙について法律が変わりましたよね。周知が必要。	・対応について担当課と検討する。
2	空き地の適正管理 ・荒れ地の情報を住民が知らせたら、直ぐに動いてほしい。所有者に適切に管理するよう通報してほしい。 ・今は住民からの情報で空き地(荒れ地)を確認に行くと言われたが、見回ってほしい。 ・空き地管理の制度に変更があった場合は、周知してほしい。	・対応について担当課と検討する。
3	ノラ猫対応について ・動物愛護の観点から地域猫への配慮を考えてほしい。 ・不妊手術に助成金を出してほしい。	・豊中では資金をクラウドファンディングで集めたと聞いた。ボランティアの力も借りないといけない。
4	ダイオキシン問題について ・旧双葉保育所跡に置かれたものは今後どうするのか。	・仮置き期限が迫っているので現在調整を進めているところ。 ・遮断型最終処分場を考えている。 ・場所については町有地で考えている。
5	森林環境税について ・森林環境税が1200万円ほどあると聞いているがその使い道は。	・今後、民有林での活用を森林組合と進めていきたい。
6	初谷川利用者のゴミについて ・ゴミBOXからゴミが溢れている。畑にも捨てていくマナーの悪い人がいる。 ・トイレがないから山の中の清掃に老人会が行くとティッシュがいっぱい落ちている。そのゴミを老人会が掃除しているのが現状である。 ・地域経済の活性化になんてなっていない。	・初谷川の自然は本町の魅力である。今後は、地域共生について考える必要がある。 ・ゴミは初谷川を訪れた一部の人が置かれていると思う。マナー違反についても考えていく。 ・トイレの整備も考えていく。

7	ダイオキシンについて ・2年前の11月に吉川に持ってくる話があったがその後どうなっているか。	・ダイオキシンについては、今の実態は、コンクリート固化している状態なのでこのままでも埋め立てが出来る状態になっている。今後は、町有地の中で処理できるよう地元と協議中。 ・遮断型を考えている。 ・吉川地区では考えていない。
8	ゴミの収集について ・生ゴミを3人体制で回収しているのは、ステーション方式ではない玄関前に置かれたゴミの収集のためだと聞いたが民間に委託してはどうか。 ・人件費、パッカー車維持費が安くなる。職員は他部署に異動させればよい。	・行財政改革プランにゴミ収集の民間委託拡充の検討が入っている。
9	ダイオキシンの進捗状況について ・進捗状況と今後について教えてほしい。 ・安全宣言はしないのか。	・最終処分に向けて進めている。 ・これまで民有地で進めてきたが、今後は町有地で処分する方向で検討中。 ・説明はしっかりしていく。 ・現在の廃棄物は、コンクリート固化されていて危険ではない。数値的にも安全である。

【学校・教育】		
	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	学校再編について ・8月12日に今後の学校のあり方を決められたそうだが、開校時、東地区の子どもは何人か。 ・費用は大丈夫なのか。	・東地区：現在216名、5年後155名、10年後98名 ・補助金が活用できるように考えている。
2	学校再編について ・再編後、新光風台の子どもが吉中まで通うのは遠いと思うがメリットは何か。	・小中一貫教育は、年の離れた生徒同士が交流する縦割りによるコミュニケーションもメリットであるとする。
3	給食について ・無農薬野菜を使ってほしい。 ・無農薬野菜を使っていることをPRしてほしい。	・サイズや虫食いなど基準等があるように聞いているが検討したい。
4	学校について ・8月12日の会議で2小2中に決まってホッとしている。 ・東地区に学校が無くなると衰退する。	・予算が議会で認められるように努力する。
5	学校について ・2小2中に決まりかけていて反対の意見が言いにくくなった。 ・少人数ではコミュニケーションが不足し、学校生活に不安がある。 ・学力差が出ないか。いじめなどが起きたとき、私学や転校を心配する人もいる。	・双方ともメリット、デメリットがある。 ・今後も保護者に資料を配布して情報共有し様々な意見は聞いていく。
6	学校コミュニティについて ・これまでも学校評議員が学校と地域のコミュニティを考えてきたと思うが学校運営協議会が出来たら2つの関係性はどうか。	・最終的には、統合して進めていく。
7	まちづくり・学校づくり ・地域コミュニティについて自治会とどう取り組んでいくつもりか。我々はどう関わるのか。 ・地域との協働の考え方を教えてほしい。 ・町は同じ土俵で、部会のような場を作らないといけないのでは。	・休耕地、空き家では力を借りたい。 ・学校では学校運営協議会に参画をお願いしていく。 ・とよの未来科の授業の中で地域の方に講師を依頼することもある。

8	こども園について ・こども園はどこに作る予定か。 ・車を使わなくても子育てに苦労しないように考えてほしい。 ・現在の吉中の近くで考えているのか。	・出来れば大きな道路を渡ることもないような場所を検討したい。
9	学校について ・高校も義務教育化される勢いがあるが私学も含めて考えておられないのか。	・本町には高校がない。子育ての切り口として高校まで繋ぐことを考えていけないといけない。個人的には誘致はしたい。 ・子どもたちの発達が進み心も身体も2年くらい早くなっている。この課題を解決するため小中一貫教育が始まった。入口と出口は大切。小中一貫はどこの自治体も考えている。小1プロブレムなど課題解決が必要である。 ・9年間教育のメリットとして義務教育学校として繋いでいくと半年間の余裕が生まれると言われている。その半年間をどう使うか、丁寧に見ていけるようにする。 ・三鷹市のカリキュラムを参考にしていく。 ・高校への出口について以前は城山高校があったが無くなってからたくさんの意見が出ている。 ・交通費のこと、高校等の学校誘致は時間のかかること。まずは豊中高校能勢分室との連携などできることからしていきたい。
10	教育について ・教育は子どもが減っていく前提で考えてほしい。 ・東独自のプログラムを考え、西と東を同じものにしないでいい。 ・学校は地域のシンボルなので東西に残す事は必要。だけど人数が違う。	・中身は地域の特色を出す。 ・グランドデザインとしてまちとひとでどう作り上げていくか。 ・地域に合ったそれぞれの教育を進める。 ・東西で同じ目標に取り組む。東西で切磋琢磨する。例えば大縄跳びを東西で取り組むなど。
11	通学費用について ・熊らしき動物の目撃により下みち通学の子どもは電車通学となり、片道80円かかる。毎日、子どもが複数いると負担。	毎日の通学距離が4Kmを超える場合には、町から補助することができるが、今回は緊急的措置である。

【防災】

	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	防災無線の活用について ・もっと積極的に活用してはどうか。 ・レッドゾーン近くの家にも個別受信機をつけてほしい。	・防災情報伝達は、積極的に取り組んでいる。 ・今後はアンサーバック機能、スマホプッシュ型などの対応も含め検討していきたい。
2	避難所について ・吉川自治会館を避難所として確立していきたい。 ・避難勧告が出た場合、段ボールの仕切り等を提供してほしい。 ・西地区自治会長会からもコロナ対策を行ったうえでの避難所開設について考えたいと意見が出ており、後日、行政へ要望する予定である。	・今回、コロナ禍の中で自治体広域で訓練を行った。 ・ベットを購入したが非常に有効に使用できると思う。 ・自治会長会で要望いただきたい。

【交 通】

	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	公共交通利用への補助について ・14～30歳に補助金制度が必要。 ・進学で若者が転出していくのを留めることが出来、自宅から通ってもらえるのでは。	・意見としていただく。
2	交通(リレー便)について ・能勢電鉄とのリンクが悪い。	・電車は10分毎に到着するため乗り継ぎが悪い場合もある。
3	バスの運賃値上げ ・広報でバス(豊能西線)の運賃の値上げを見たが、値上げしたら乗る人も減ると思うがいかがか。	・高齢者が免許証を返納していく現実を見ると交通の充実については検討課題である。 ・交通施策としてバスを維持していくためには、住民も積極的に乗ってほしい。

4	交通について ・交通手段の能勢電鉄が高い。他自治体と連携しながら取り組んでほしい。	・通勤客が減っている。 ・関係人口を増やして乗客数を増やしたい。 ・バス路線は赤字であるため乗車促進を促したい。
5	交通について ・バス代が値上げされる。高齢者は免許証の返納をすると生活しづらくなる。買い物には自分で行きたい。	・交通の維持については考えていく。自家用有償運送の仕組みが緩和されている。それらも発展的に考え、今後の公共交通までのラストワンマイルを考えたい。

【議 会】		
	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	町議会について ・議員定数を減らし、その資金を他に活かしてはどうか。	・議員定数は議会が判断されることである。
2	議員報酬について ・福島県矢祭町では議員報酬が日当だと聞いている。豊能町も日当制にしたら経費が減る。そのお金を子育て施策に活かしたらどうか。	・本町は、通年議会としているので福島県の自治体とは違うのではないか。ここでは意見を控えたい。

【その他】		
	住民からの意見・質問	町長・教育長からの主な発言
1	R423ひまわり畑のこと ・ひまわりは綺麗だったが行くまでの道が危なすぎる。	・R423の歩道整備については、大阪府にも要望している。
2	経費額について ・町政にかかる費用は、東西で差はあるか。東西一人当たりの経費を教えてほしい。	・東西というより、経費の地域差はある。各地域ごとにふさわしい金額を使う。全体で考えていただきたい。
3	職員定数について ・資料中の職員定数は正職員のことか。	・ここでは、正規職員。正規職員と再任用で150名。消防は入らない。 ・正規職員と任期付き職員をどう配置するのか。民営化・事務委託も考えていく。